

会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日 時	令和4年3月17日(木) 13:30~16:10
場 所	沖縄県立図書館 6階研修室
出席委員名	山口真也委員（会長）、榮野川敦委員（副会長）、カーマシュー委員、新垣吉宗委員、中島徹也委員、川満奈美絵委員、宮里寿子委員、呉屋美奈子委員（8名）
議題及び報告事項	報告事項 1 令和3年度の図書館利用状況について 報告事項 2 令和4年度当初予算案の概要について 協議事項 1 沖縄県立図書館運営方針に基づく図書館評価における利用者満足度調査について 協議事項 2 令和4年度沖縄県立図書館重点取組事項について
会議の概要	報告事項、協議事項について、質疑応答及び協議を行った。 委員からの質疑及び協議結果等については別紙のとおり。
公開・非公開の別	公開
非公開の場合の理由	
所管課等	沖縄県立図書館
問い合わせ先	総務班 担当 玉那覇・小池 電話 098-894-5858
備 考	

会議結果の公表

附属機関等の名称	沖縄県立図書館協議会
日 時	令和4年3月17日(木) 13:30~16:10
場 所	沖縄県立図書館 6 階研修室
<p style="text-align: center;">会議の概要 (委員からの質疑等)</p>	<p>報告事項 1 令和3年度の図書館利用状況について</p> <p>○レファレンスは全て委託業者が行っているのか。 〈回答〉窓口業務委託業者が受け付ける事が多いが、所蔵調査等軽微なもの以外は、レファレンスカウンターで、職員が対応している。</p> <p>○令和4年度の開館予定日数は何日になるか。 〈回答〉毎週火曜日と蔵書点検期間、年末年始が休館となる。参考として、令和元年度の開館日数は280日だった。</p> <p>○令和3年度の蔵書点検は、新型コロナウイルス感染症による休館時期に実施したのか。 〈回答〉コロナ休館の間に前倒して蔵書点検を行い、元々予定していた期間は、開館した。</p> <p>報告事項 2 令和4年度当初予算案の概要について</p> <p>○離島読書活動支援事業の旅費が減っているが、移動図書館の開催回数等に影響はないか。 〈回答〉旅費の減は、図書館を設置する自治体が増え、移動図書館の対象となる自治体が減ったこと等によるもので、所要額は確保されている。</p> <p>○図書館情報システム整備事業の事業者はどのように決定したのか。 〈回答〉平成29年度に総合評価方式による一般競争入札により決定した。</p> <p>○ホームページの記載事項から推察するとサーバはオンプレミス（サーバを使用者が管理している施設の構内に設置する運用方式）になっていると思われるが、クラウドサービスの利用についても検討してほしい。</p> <p>○自治体の場合、個人情報保護の観点から、クラウドの利用が難しい面もある。 〈回答〉事業者からの情報提供等も受けながらシステム更新に向け検討していきたい。</p> <p>協議事項 1 沖縄県立図書館運営方針に基づく図書館評価における利用者満足度調査等について</p> <p>○回答数を増やす為、Twitterにリンクを貼るなどするといいのではないか。</p> <p>○都道府県立図書館で、利用者満足度調査を行っているところは、どれぐらい把握しているか。 〈回答〉東京都立図書館で大規模な調査の事例がある他、複数の都道府県で実施していることをWeb等で確認している。</p> <p>○アンケート調査実施の際、県立図書館と市町村立図書館の役割の違いを明確にしてほしい。</p> <p>○テストサイトでの「市町村立図書館では購入しづらい専門的な資料などを重点的に揃えています」という表現は、市町村にあるような娯楽雑誌のリクエストがたくさん来るような事態を防ぐために、とても重要と思う。</p> <p>○通年で調査する場合、回答の重複やいたずら等の懸念も出てくることから、サービス実施毎に評価を依頼した方が評価しやすいと思われるレファレンス関係の調査以外は、期間を区切って調査を実施した方が良いのではないか。</p> <p>○景品や特典等があるとアンケートの回答を増やすことができるのではないか。</p> <p>○目標1に係る調査について、回答項目が14個と多い。多くても10個程度にしないと回答率が上がらないのではないか。 〈回答〉項目が多いことの対策として最初の5項目程度回答した後に、最後の満足度の項目に飛んで送信するような案としていたが、どれぐらいの項目なら回答してもらえるかということを確認する為にも、1度試行的に現在の項目数で実施したい。</p> <p>○現在の質問項目数のまま実施するとした場合も、満足度の13番目の項目まで移動（スクロール）することも大変なので、満足度の質問項目の順番を前の方に変更するレイアウト変更もありなのではないか。 〈回答〉アンケート用Webサイトの仕様上、送信ボタンを一番最後に配置しないといけない為、「時間が無い方はこちらを選択してください」というようなショートカット用の設問を途中に入れる形で検討したい。</p>

会議結果の公表

会議の概要
(委員からの質疑等)

- 「サービス利用有無等」の項目等、画面表示が見にくい。アンケートは見にくいとやりたくなくなるのではないか。また、アンケートの実施目的が不明確ではないか。
- アンケートの記載について、独自のサービス名や図書館の専門用語は避けた方がよい。
〈回答〉会議資料は内部向けの用語で記載しているが、実際のテストサイトについては、一般の方が見てわかるように説明書き等を加えている。
- サービスの利用状況を知りたいアンケートと、認知度を知りたいアンケートと満足度を知りたいアンケートが混ざっているため、シンプルにした方がいいのではないか。
- 目標 1～3 については簡潔にして、ひとつにまとめることもできるのではないか。
〈回答〉目標 1（来館者総合満足度）と目標 2（郷土フロア・サービス満足度）については、ともに来館者への調査ということで、まとめる余地はあるが、補助金に係る効果測定等の兼ね合いから、今回は分けて実施させていただきたい。
- 潜在的利用者に聞くときのアンケートのチラシについては、文字量が適切と感じるし、遠隔地サービスや相互貸借等のサービスも見た方がわかると思うので、良いと思う。

【協議結果等】

利用者満足度調査について、各委員の意見をできるだけ反映させる形で修正すること及び今回は初年度ということもあり、試行的に実施し、次年度中に見直しを行うことが確認された。

協議事項 2 令和 4 年度沖縄県立図書館重点取組事項について

- 運営方針の 4 つの目標からバランス良く重点取組事項がピックアップされていると感じる。
- 知の拠点パワーアップ事業で職員 1 名に司書講座を受講させるとのことだが、現在、本務職員のうち司書資格保有者はどれぐらいいるのか。また、新規採用で司書を採用する計画はあるのか。
〈回答〉現在、25 名中 9 名が司書資格を保有している。司書の採用については毎年要望しているものの実現していない。その他に、司書確保の対策として県立学校の司書を人事交流により、現在 2 名配置している。
- 司書が増えるのはいいことだが、県立図書館として、もう少し上の段階で考えて、長期研修等に参加する予算も確保していただきたい。
〈回答〉毎年度国立国会図書館で実施している専門的な講習に参加する為の予算は確保している。昨年度と今年度は新型コロナウイルスの影響により、オンラインとなったが、受講している。

【協議結果等】

原案のとおり承認された。